広島県の地震

２０２５（令和７）年６月

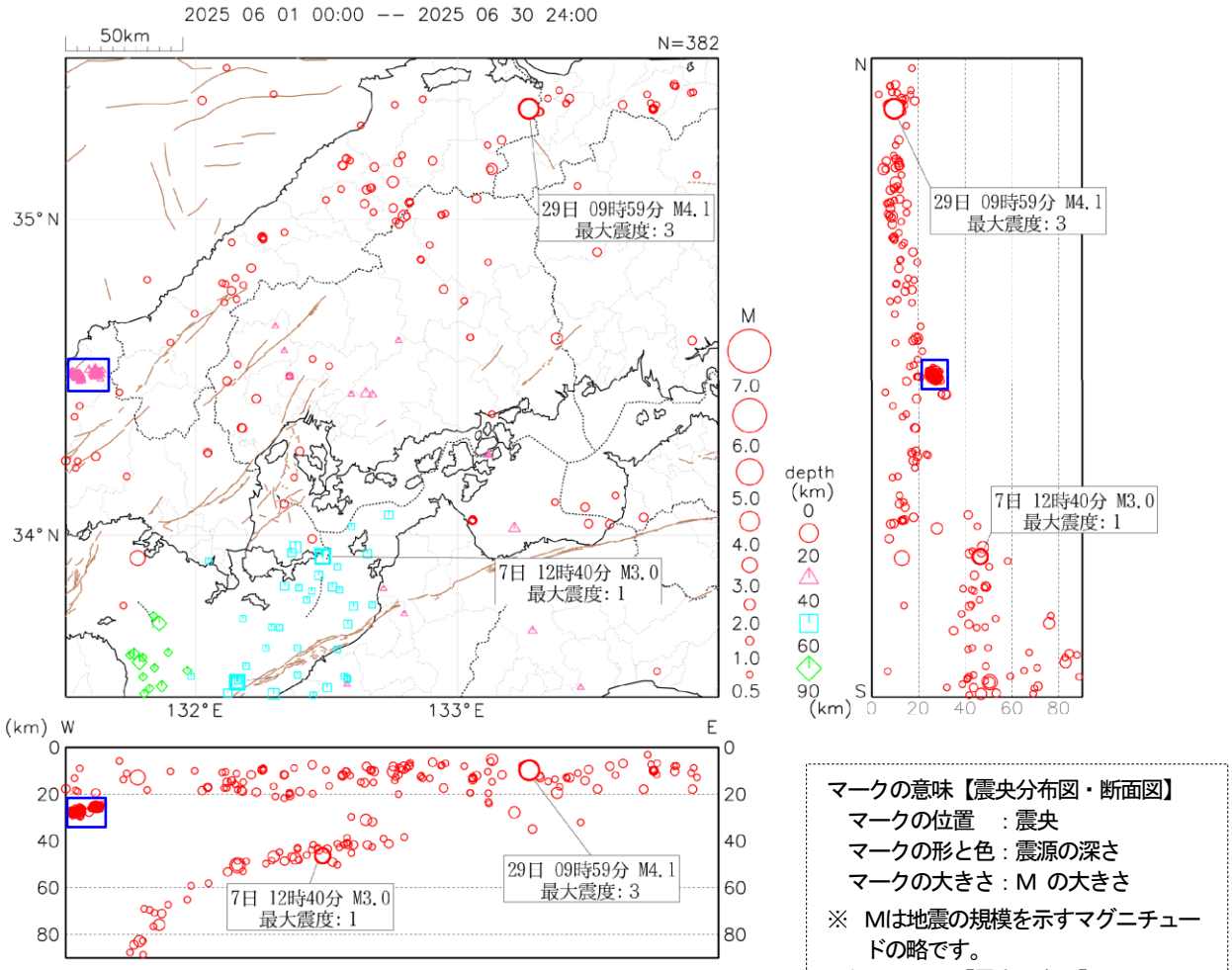
目　次

広島県及びその周辺の地震活動・・・・・・・・・・・・・・・・１
震央分布図・断面図と地震概況
広島県における震度１以上の地震・・・・・・・・・・・・・・・２
震度一覧表と震度分布図
地震メモ　第 247 回・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
津波から身を守る

広島地方気象台

広島県及びその周辺の地震活動

【震央分布図・断面図】　　2025 年 6 月 1 日～6 月 30 日



左上：震央分布図　右上：南北断面図　左下：東西断面図

※　震央分布図とは、震源直上の地表面での位置を表示した図です（震源とは地球内部で岩石破壊が始まった地点で、一般的には深さがあります）。

※　図中の茶線は地震調査研究推進本部 による活断層を表しています。

※　図の右上の”N”は図の範囲内における地震の回数です。

マークの意味【震央分布図・断面図】
- マークの位置　：震央
- マークの形と色：震源の深さ
- マークの大きさ：M の大きさ

※　Mは地震の規模を示すマグニチュードの略です。

凡例（depth）【震央分布図】
- ○ は深さ 0～20 km未満
- △ は深さ 20～40 km未満
- □ は深さ 40～60 km未満
- ◇ は深さ 60～90 km未満

【地震概況】

この期間、広島県内で震度１以上を観測した地震は３回でした（先月は２回）。

３日 20 時 17 分 豊後水道の地震（深さ 45km、M4.3、上図の範囲外）により、愛媛県伊方町で震度３を観測したほか、中国・四国・九州地方で震度２～１を観測しました。

７日 12 時 40 分 安芸灘の地震（深さ 46km、M3.0）により、広島県呉市で震度１を観測しました。

29 日 09 時 59 分 島根県東部の地震（深さ 10km、M4.1）により、鳥取県米子市・境港市・南部町、島根県安来市で震度３を観測したほか、中国・四国地方で震度２～１を観測しました。

なお、山口県北部の深さ 25km から 30km 程度（震央分布図・断面図青枠内）では、2025年２月から微小な地震活動が見られるようになりました。３月上旬頃から地震回数が増加し、現在も地震活動は継続しています。地震活動の詳細については、気象庁 HP「令和７年６月の地震活動及び火山活動について」及び地震調査研究推進本部 HP「2025 年６月の地震活動の評価」を参照願います。

・気象庁　https://www.jma.go.jp/jma/press/2507/08b/2506kinki-chu-shikoku.pdf
・地震調査研究推進本部　https://www.static.jishin.go.jp/resource/monthly/2025/2025_06.pdf

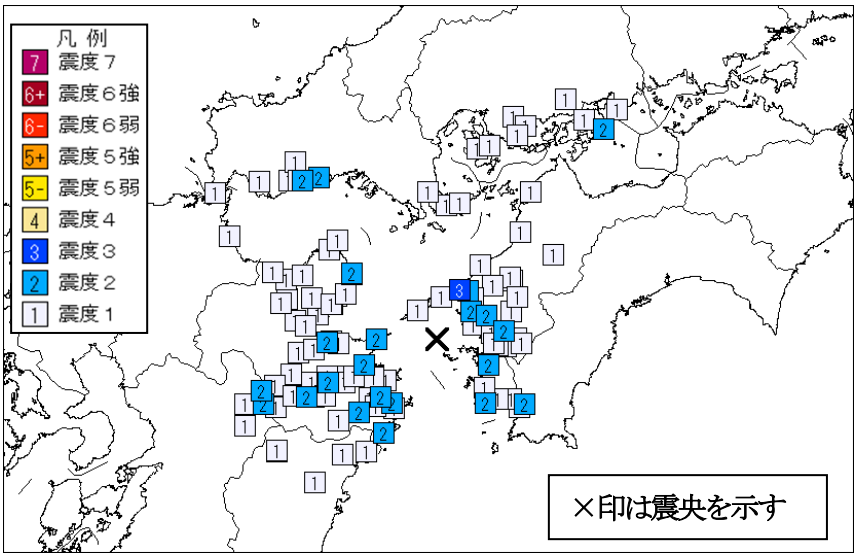
広島県における震度１以上の地震

【震度一覧表】

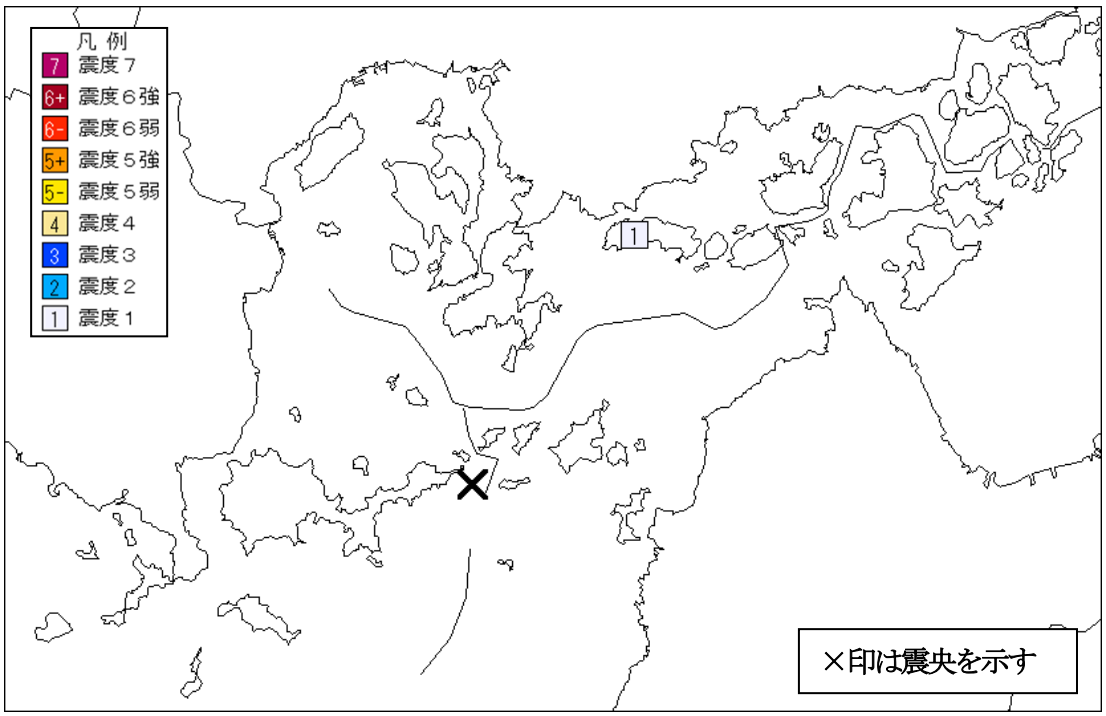
発震時刻（年月日時分） 広島県内の各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	M ﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ
2025年06月03日20時17分	豊後水道	33° 15.0’ N	132° 13.5’ E	45km	M4.3
―――――― 地点震度 ――――――					
広島県　震度 1 ：	三原市本郷南＊, 尾道市瀬戸田町＊, 福山市内海町＊, 呉市川尻町＊, 呉市音戸町＊ 呉市安浦町＊, 東広島市黒瀬町, 江田島市大柿町＊				
2025年06月07日12時40分	安芸灘	33° 55.8’ N	132° 29.0’ E	46km	M3.0
―――――― 地点震度 ――――――					
広島県　震度 1 ：	呉市下蒲刈町＊				
2025年06月29日09時59分	島根県東部	35° 20.8’ N	133° 16.4’ E	10km	M4.1
―――――― 地点震度 ――――――					
広島県　震度 1 ：	広島三次市作木町＊, 広島三次市吉舎町＊, 庄原市西城町大佐＊, 庄原市東城町＊ 庄原市高野町＊, 北広島町都志見, 北広島町有田, 三原市円一町, 三原市久井町＊ 尾道市向島町＊, 福山市駅家町＊, 福山市神辺町＊, 世羅町西上原＊, 神石高原町油木＊ 呉市広＊, 呉市下蒲刈町＊, 呉市川尻町＊, 廿日市市大野＊, 大崎上島町中野＊				

注）震度の地名に＊印を付したものは、広島県または防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。

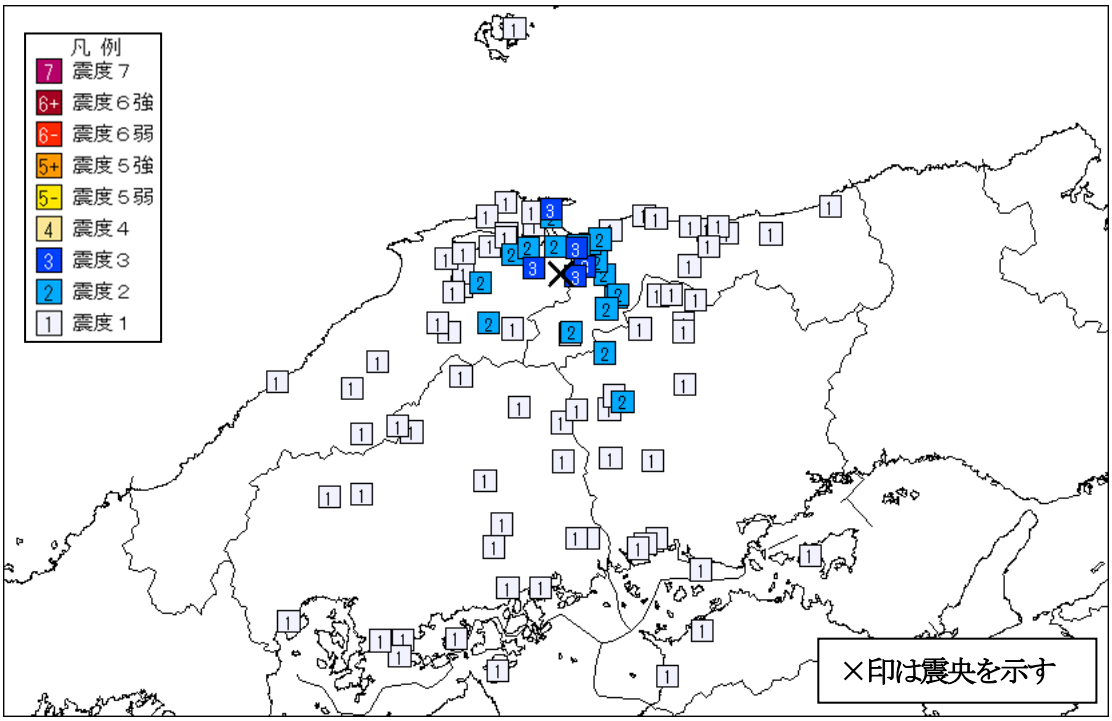
【震度分布図】



2025 年６月３日 20 時 17 分　豊後水道の地震の観測点震度分布図



2025 年 6 月 7 日 12 時 40 分　安芸灘の地震の観測点震度分布図



2025 年 6 月 29 日 09 時 59 分　島根県東部の地震の観測点震度分布図

地震メモ　津波から身を守る　第247回

津波はとても速いので、津波を見てから逃げたのでは間に合いません。地震による揺れが無い場合や揺れを感じにくい場合にも大きな津波が来襲する可能性もあります。**海岸付近で地震の揺れを感じたり大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」という）が発表されたら、海から離れてただちに高い場所に急いで避難**しましょう。

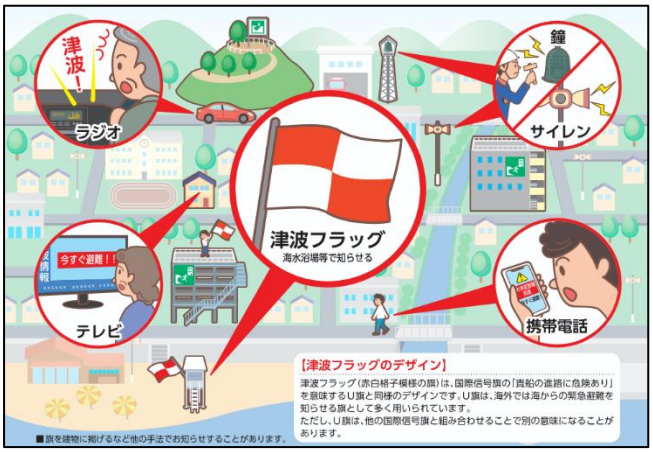
＜目指すところは、避難所ではなく避難場所！＞

沿岸にお住まいの方や旅行される方は、**「津波ハザードマップ」**で**「津波の避難場所」**等を確認しておきましょう。

（避難所はその後の避難生活を送るための場所なので、切迫した災害の危険から逃れるための避難場所とは違います。）

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和２年６月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。

「津波フラッグ」は津波警報等が発表されたことをお知らせする旗で、聴覚に障がいをお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。



海岸で津波フラッグを振っているイメージ
（公益財団法人　日本ライフセービング協会提供）
※旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることがあります。

参考：気象庁ホームページ

知識・解説＞津波から身を守るために＞津波フラッグ

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

なお、本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

広島県の地震に関する問い合わせ先
〒730－0012
広島市中区上八丁堀 6－30 広島合同庁舎 4 号館 14 階
広島地方気象台 防災管理官室　　TEL：082－223－3965